

NOx第2次規制 適用エンジン 初出荷



ダイハツディーゼル(株)は、2011年1月以降の建造船に適用される国際海事機関(IMO)のNOx第2次規制に対応するため、エンジンの開発を進めてきました。このたび2011年1月を前に商用初号機となる6DK-20e(720rpm×670kW)を6月23日に出荷致しました。



6DK-20e

当社では、第2次規制適合エンジンを「e-Diesel」と名付けラインアップを完了しています。

この「e-Diesel」は、安全性、信頼性、耐久性を損なわないよう、圧縮比、バルブタイミング、高圧力過給機、燃料噴射時期、燃焼室及び燃料噴射弁の最適化を図ることにより厳しい第2次規制をクリアいたしました。燃費を含む一般性能はもちろんのこと、特に低質燃料油での低負荷燃焼を確保し、瞬時の速度変動率を悪化させることなく、適切なチューニングを施しており、安心して採用して頂けるエンジンとなっています。

既に、日本海事協会(NK)殿をはじめ、ABS、BV、CCS、DNV、GL、KR、LR各船級協会殿の立会いの下、NOx鑑定試験を実施し、鑑定書の交付を受けております。今後、「e-Diesel」は順次出荷される予定です。

また、2016年からの更に厳しい第3次規制に対しても、NOxを除去する排気ガス後処理装置である脱硝装置の開発を積極的に進めており、今後とも、ユーザーの皆様にご満足して頂ける商品開発を進めています。